

GENKYO YOKOO TADANORI GENKYO 横尾忠則

〔原郷から幻境へ、そして現況は?〕

**過去、最大規模の「横尾忠則展」、スケールアップして、東京展開催！
東京都現代美術館にて2021年7月17日(土)～10月17日(日)開催**

1960年代からつねに第一線で活躍し、日本を、そして世界を魅了し続けてきた、アート界のレジェンド、横尾忠則。その横尾の、60年以上にわたる創造の全貌を目の当たりにすることができる集大成の展覧会が実現します。愛知県美術館で開催され、過去最大規模の横尾展として話題を呼んだ「GENKYO 横尾忠則」展が、東京ではさらにスケールアップ。横尾自身の総監修により、構成を根本的に見直すとともに、去年から今年にかけて描かれた新作を含めて、200点以上の作品が新たに加わり、600点以上の作品が出品されます。横尾はすべての人間の魂のふるさと「原郷」から汲み上げた、豊かで奔放なイメージの世界「幻境」を、数多の独創的な絵画に描き出してきました。横尾芸術のダイナミックな展開を、心うちふるえるまでに体感することができる、まさに画期的な展覧会となるでしょう。



本展へのメッセージ

何を描くかではなくて、どう描くかでもなく、
如何に生きるかでもなく……。

——横尾忠則

★東京展のメインビジュアル

横尾忠則 《T+Y 自画像》
2018年 個人蔵

<作家プロフィール> 横尾忠則 よこお・ただのり

1936年、兵庫県西脇市生まれ。高校卒業後、神戸でデザイナーとしての活動を始め、1960年に上京、グラフィック・デザイナー、イラストレーターとして脚光を浴びる。その後、1980年にニューヨーク近代美術館で大規模なピカソ展を見たことを契機に、画家としての本格的な活動を開始。様々な手法と様式を駆使して森羅万象に及ぶ多様なテーマを描いた絵画作品を生み出し、国際的にも高く評価される。2000年代以降、国内の国公立美術館での個展のほか、パリのカルティエ現代美術財団(2006)をはじめ、海外での発表も数多く行われている。2012年に横尾忠則現代美術館(兵庫県神戸市)、2013年に豊島横尾館(香川県豊島)開館。



横尾忠則近影
(角南範子撮影、2020年)

展覧会の見どころ

1. 横尾芸術の全貌を見渡せる最大規模の展示

いわゆる「画家宣言」から 40 年。アーティスト・横尾忠則は、めまぐるしくスタイルの変遷を重ねながら、森羅万象あらゆるものをモチーフとして、おびただしい数の作品を生み出してきました。「GENKYO 横尾忠則」東京展では、愛知展をさらにパワーアップ。絵画を中心に、初期グラフィック作品を加えた 600 点以上の出品作品により、横尾芸術の全貌に触れることができる、最大規模の展覧会です。



横尾忠則 《W の惑星》
2005 年 作家蔵

2. 横尾忠則自らが監修して構成した展覧会

「作品による自伝」をテーマに企画された「GENKYO 横尾忠則」愛知展を、作家自身がリミックス！ 横尾忠則の総監修のもとに、出品作品を半分以上入れ替え、構成を根本から見直して、全く新しい展覧会として生まれ変わりました。新しい観点から語られた横尾芸術の真実を体感できる、画期的な展覧会です。



横尾忠則 《寒山拾得 2020》
2019 年 作家蔵

3. 2020 年～21 年の新作を初公開

全世界がコロナ禍に見舞われるという未曾有の状況の中、横尾は、外出も来客も制限しながら、日々アトリエにこもって絵画制作に没頭してきました。昨年から今年にかけて制作された、この新作は、大作ばかり 30 点以上に及びます。横尾芸術のなかで、最大級の問題作とも言えるこの新作の数々を、東京展では初公開いたします。



横尾忠則 《高い買物》
2020 年 作家蔵

《滝のインスタレーション》で体感型展示

横尾が滝の絵を描くために収集した絵はがきのコレクションは1万枚を超え、インスタレーションへと展開しました。天井・壁面を覆い尽くす滝の絵はがきは、床の鏡面にも映り込んでいます。ダイナミックな空間をぜひ体感してください。



〔参考写真〕《滝のインスタレーション》(愛知県美術館での展示)

コロナと向き合う《WITH CORONA》シリーズコーナー(撮影可能エリア)

2020年5月から横尾は自分の作品や写真を素材に、マスクをコラージュした「WITH CORONA」シリーズをTwitterとブログで発信し始めました。コロナ禍でのネガティブイメージをポジティブイメージに変換する試みは、現在600点以上に達しています。



〔参考写真〕《WITH CORONA》のインスタレーション(愛知県美術館での展示)

【東京展 開催概要】

- 会 期：2021年7月17日(土)～10月17日(日)
- 会 場：東京都現代美術館 企画展示室 1F/3F(東京都江東区三好4-1-1)
- 休 館 日：月曜日(7/26、8/2、8/9、8/30、9/20は開館)、8/10、9/21
- 開館時間：10:00～18:00(展示室入場は閉館の30分前まで)
- 主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、朝日新聞社、テレビ朝日、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会
- 特別協力：横尾忠則現代美術館、国立国際美術館 ■ 協 賛：凸版印刷
- 企画監修：南 雄介(前愛知県美術館館長)
- 展覧会特設サイト：<https://genkyo-tadanoriyokoo.exhibit.jp/>
- 美術館ウェブサイト：<https://www.mot-art-museum.jp/>
- 展覧会公式 Twitter：@GENKYO_Yokooten
- お問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル/9:00-20:00 年中無休)

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会期間の休館日を、臨時開館いたします。
臨時開館日：7/26、8/2、8/30

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館は、東京都とともに、オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げる「Tokyo Tokyo FESTIVAL」を展開しています。

<観覧料及びチケット情報、展覧会公式ガイドブック・カタログのご案内> ※金額はすべて税込

一般 2,000 円 / 大学生・専門学校生・65 歳以上 1,300 円 / 中高生 800 円 / 小学生以下無料

- 当日券は美術館内チケットカウンターで販売します。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前に予約優先チケット(日時指定)のご購入をお勧めします。
- 販売開始時期等の詳しいご案内は、後日ウェブサイトにてお知らせいたします。

★グッズセット券を発売

数量限定で、展覧会オリジナルグッズとのセット券(一般料金のみ)を販売します。完売次第終了です。

- マスコットセット券 2,800 円
- マグカップセット券 3,500 円



★展覧会公式ガイドブック・カタログ

- 公式ガイドブック(右上)

『GENKYO 横尾忠則 I A Visual Story 原郷から幻境へ、そして現況は?』

刊行:国書刊行会 価格:2,420 円(本体価格 2,200 円)



- 公式カタログ(右下)

『GENKYO 横尾忠則 II Works 原郷から幻境へ、そして現況は?』

天地万物をモチーフに、スタイルの変遷をめまぐるしく繰り返しながら、天空にまかれた星々のごとく生み出された作品群を網羅した、横尾芸術の総決算ともいべき決定版! 図版約 1000 点を収録。2021 年 7 月 17 日発売。

刊行:国書刊行会 定価:7,920 円(本体価格 7,200 円)



【巡回予定】2021 年 12 月 4 日(土)~2022 年 1 月 23 日(日)/大分県立美術館

主 催:公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館、朝日新聞社

特別協力:横尾忠則現代美術館、国立国際美術館

【関連情報】

★東京都現代美術館 同時開催

「MOT アニュアル 2021 海、リビングルーム、頭蓋骨」「MOT コレクション」

★同時期には横尾忠則の人物像や作品を紹介するその他展覧会も開催されます。

「YOKOO LIFE 横尾忠則の生活」

◇主 催:ほぼ日

◇会 期:2021 年 7 月 17 日(土)~8 月 22 日(日) ◇入場料:450 円

◇会 場:ほぼ日曜日(渋谷 PARCO8階)

◇内 容:ほぼ日の人気連載「YOKOO LIFE」をベースに、横尾忠則さんの魅力あふれる人物像に近づく展覧会。

【報道関係お問い合わせ先】

「GENKYO 横尾忠則 原郷から幻境へ、そして現況は?」広報事務局(共同 PR 内)担当:三井

E-mail : genkyo-tadanoriyokoo.exhibit-pr@kyodo-pr.co.jp

TEL : 03-6264-2382